職の建削をとる。要するにお互

とり精神の問題を最高優位

問題は魔る間乱に亘るが、

動が置かるべきであり、

る語である。佛しこれは平面的

返へ、いかにしても今日の決戦 協力してこの施弱面を飛動面に の部分に脆弱面があつてもいけ い。もし脆弱面あらば、

行にかおりついてもこれを爲 時局緊迫の底が解度化する

六月十一日兵職長として南方。月第二次長沙作戦に民衆山の徽五一勝氏し、今次卿會識の成果を増方一

に臨んだ九爾長知事および整事所 また廿日の地方行政協議審長商祭

戦時生活確立への途

大東亜風筆に 勝ら 抜くために ばならぬ。幽絵の一切の物的儀

衣気住である。併しこれを例々

「事態をこの個に放任して耐く勝

そのまく音楽することが困難で

の背後に大東亜土飯の民衆が存めある。そしてそれは一個國民

ことを新すかといふことに依するであらう。

事態がその時そのいつれによる 職権説と心正しい。要は現實の の強さは魔々握り販でも生き **戦指導を適切ならしめる構々** 

である。木村県柳少は、紫崎正大大・切四祖四・少に 山崎 茂 宮山 向 組五名組合 の際死を落けたもの 功二大後 同じ 担不ります

|欧の邦戦政闘の前に兎佐郷域を映||一下紙の商級時級勇ポスカー・ホ|| 米集勇ニユージョージャ居の数闘レた米国はムンタ方面日本守物|| 電ビよ丸はイギニング・スタンダ る

戦闘の様相を次のやうに無へてゐ

權限委譲近く實施

決戰行政逞しく發進

域内事情を精査しまた必要ある場

一張および國民生活確保の上にとし、その他各地方において戦力増 一、痛吸輸送力の増強に弱する邪る事事

くに必要と認められる事項

名鳴言 の順死を強けたもの

また竹林嘉雄伍長は同大陸の脚弾

無元ならびに

殊勳甲四十七名

航空部隊が十九日

ナ酸庫爆襲「ラランスインス甘島器」

蘭太平 洋皮優倫軍司令部は戦爆連合の日本

米軍、精神力に敗退。

た阿部本権中総をはじめこ子 四百 | 左腕巻にこれを撃談市主力の停蔵 | 何れも昨年一月モルメン・飛行機(常一線)において公称差行中剛烈レー十八年10台部を 皮膜・敷佐の成と | 樹、善戸郷離少尉、手塚舎間及第一線において公称差行中剛烈レー十八年10台部を皮膜・敷佐の成と | 樹、善戸郷離少尉、手塚舎間及 #三名の多きに適してある、しか | を育利に展開せしめたが僧くも後 | **郷に重爆般搭**郷員として飛行場場

何れも昨年一月モルメン飛行場爆

一千四百卅三名に恩命

に入緒息

775

【00番世 日間器】帝國海軍航空部隊は 七月上

**在泊中の敵巡洋艦一隻に 至近彈を與へ** 

コロ島を連打

密して ある日本 軍陣地を 砂塊する

多大の損害を興へた

青木

以下日瀬軍官首脇者に朝鮮無腐耽任の正式挨拶をなすため小林砂書官、

張南然鄉

り競裂した【宮簾=出続する小磯秘格=昨夕京城郷にて】

發電所を御視察あらせ られたるに對し 御禮言上し 情報課發表(七月廿一日午後大時女分)小磯朝鮮總督は、

際水豐

あらせられたるに對し 御禮言上

滿灣國弘報處發表 (世/日十八時世分) 小磯朝鮮總督は

海鷲長驅 敵後方基地を衝く

週間も一定頭の食棚によって生活

領土編入近し

三千トンの汽船一隻を搬

日泰間折衝は

ナトンの汽船一隻を電腦したとい

敵飛行場に巨弾の

島を强襲

後六時台分京城競グのだみんで新京に向ったが、右に関し信報課では次の通

機總督满洲國訪問

御禮言上と就任正式挨拶に



議次午前一時五分 天皇陛下親臨 【東京管話】廿一日の個密院不會

の二件を上蔵、鬼二書記官長より 補の特別任用に確する件中改正へ、郵便檢閱官および郵便檢閱官

報査の結果を報告し全會

通り司法、同十時五十三分政會

٠ ک

チ IJ

ヤ

攻防戰

潜水艦はシテリヤ

タニセツタ の同か独立した、英第八 の同け進曜を 軍重版単な を関へたた のになる。 突破 のたた

救

蓟

獨落下傘部隊平出動

多次の指生受けたため英軍の数第十五級時間調の反映を受けたため英軍の数第十五級時間調の反映を受けたため英軍の

**関軍が否定力を増加した結果** 

般行賞

功三旭一 % 青木 朝鮮關係

功六旭六 杉山 茂雄 平七

における反隔軸型は空間相呼激する幅軸型の果然な楽器を受け返日る幅軸型の果然な楽器を受け返日の概な楽器を受け返日のでは、 でおける反隔軸型は空間相呼激する。 でおける反隔軸型は空間相呼激する。

島ヤベリチシ

氏はシテリヤ島の競別につき廿日

(ベルソン二十日同盟] DINB®

有力集團を殲滅

「ベルリン甘一日同盟」メツシナ

を襲撃沈

ものて組織された新領土褒収趣備 職人のためさきに薬閥各省代表 大型船舶廿 受 文以来 微

機能に既へた損害につき廿一日左

神經痛に

此の良

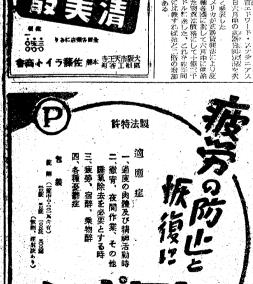
藥

を猛襲

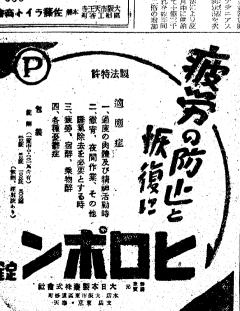
の公議によれば昭勲に高紀歌は 十丸日後マルタ高を襲動し、勝剣 際にわたり頭実施設に巨弧の縁を 勝らせた、この空襲な昨年十二月 (リスポン廿一日同盟) ロンドン (リスポン廿一日同盟) ロンドン

回にわたる意識によって種々樹麗 ものであつ

赤軍戦車百卅撃破赤軍戦車百卅撃破 機りたと甘



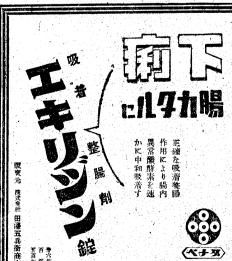
. (





長、首相訪問 語]























A. ピタミン ABCD…L B. 仮白質 環分 ヘモグロビン C. 肝樹 全ホルモン D. 神陽 全ホルモン

錠

画意

解(消)鐵

大路、骨折、うちみ、くじ、水路、骨折、30分割、 生足腹海、関節が、 腹筋 外部痛の邪や、はれ、悪に 今用 途が 獺 即 今用 途が 獺 即 今間 額が 低 羅 社 鲁 名 各 木 大 田神京東

陳附となって以來版庫版酬の教育 依然原因をつきとめることが

國家意識を滲透

海運業者の企整方針

年(驚時大尉)陸軍歩兵暴を戦車和十三年に 遡る、 犬佐は 昭和六

字通り深刻奇烈となって來た、こ

回海運統制を新たなる観覧から

るからこれを以て直ちにかっての

感激の現地技術陣 ツク浮揚

るや・シンガポール・策権に英公「リスらじい整濟さである、何しろこの 四路トンドツクが 完成す」ン一つで出來るなど如何にもイギ 南方向琺瑯鐵器

きべて萬歳を明んだのであつた に自沈させた世界最大の四萬ト 8日本人工員、潜水矢はいふま トツクがわが海軍の手で見る

食糧營團等に就て岸糧政課長語

商工省異動(廿二日)

日午前十時から開山響流武場で

心が喚起され、更に朝鮮の食権 心が喚起され、更に朝鮮の食権

キロに及ぶ世界的に無例のない大一の変地関連を纏て、本霧東京で一般終江水俗説州ダムは延長室に二一回に亘り爆提技術界最高徹勝高

の貨地調査を經て、本程東京で

世紀の

義州

I

本格的工事に着手

界最初の試煉的建設工事として内に於ても一部内地配委員から上海

土環堡銀道工事で、本邦土木技術。かれた日本堰堤技術委員會の新聞

朝鮮食権管理令折衝のため、融會【東京電話】農林局岸橋政課長は 歸任後直ちに創立準備

廿四日京城箱の豫定で踰任の途に 終了後も引続き、京中であつたが

この開設された工器部門は、第一比較的新らしく重要した開業の常義はに可避く文明末間の勢養・癒工部は、さきに「書したやうにによって、寡ら氘化級工器を中一切ら回茶的製品に表いてある。 に就てに就て 比較的新らしく酸型した朝鮮の

【中】

一經濟の構造

金質を解明することが必要であり が先づ第一に朝鮮の所内地貿易の

々が一口に関剔といっても

流通

製品の交換と内地資本の循環

を求めるところの病人の質

の他の工業製品、曲に機械での他 見ると朝鮮の主要移出品は米及び 間域が朝鮮の經濟構造に與へるとと事を説明した、問題は年々の入

の内地移出による半路線村へのほ

われ等は人超減が最近對内地

事態も、何等この基本的流道事。
|に、個都の社會から徐々に發達的に今日の経歴國家管理といふ|これが遠遥は、内地に除けるや

を聞へるものではない、ただ性略

通に就て、、生活物資の流

すなはち企業家は勢務治を使用

通に就て四、建設資材の流

け 割

してありますから、大東帝の領投業に签若明及祭用して贈刀の崩壊・健康の得久に報酬物併居日間、組切・アミノ朝・無総成分を実際で消化されるとはつ使用値消に調型無導アミノ朝を配合した時と原維法側の通知網球であります。 通り代し あられ は裁議に 高んだ網を原料とし煙が法により 製造されたる 鎌げたし あられ は裁議に 高んだ網を原料とし煙が法により 製造されたる

民御後用を希ひます。

・ダシ・ザコハニボシンの代りにの使用 法の例

御敵に振り届せ機み併けば来かく特有の味が添へられ スープ・メンチ、シチユー箏のおだし其他料理に、牛、お煮剤やନ茶、ウドンやソバに振り掛け蜂節に優る味と

潤滑油瀘過器を完成 油の健用的研究』といる決蔵下の知内および一部の健用的研究』といる決蔵では『愛動機用機器に 大佐 杉谷奈一氏型 敷明整飾製液 教管護虹 大佐 杉谷奈一氏型 敷明を伸展を 教育を取りませんだ、 医腮の 主に東京都世 田ケ谷區隆 財で文部省から東ある丁原卿士の恩位が授器完成と成功した一現役前人に去る十五日 沿山園過器の製作に養手、昭和十 心苦の佐大谷杉

> 業整備や配給問題など間工省関係 が切貨に要請される決戦下日追

この窓口と、商工省との、連絡を緊の陳情が過半数を示してあるので

ことに成功したので、直ちに沈下

輸送で打合

林式市況(新期)

投資も絕對決戰型で!

時局軍監督社の生産力を我等の投車神の裕忠に腰へ略家が映示する

**▼二町油明府城京**】 券 證 田 秋

質用的研究」の一書を刊行、置い 校集會所から『愛動機用型滞油の 間既を廃上げた一般の疑が護日数 政會の窓口へ商工省係官翼

中小商業の調査

出す――國政の要求を背局へ購入一にあり、一方企業優勝も近く登施。る現在の動師などを拘骸近號に親下断上頭の影談油能除が駆戮に乗、激談な監戦を能敗なくされる世間、ピその艦職機相能に減々と艦戦を一勝する幾敗百の競口へ爾工宿から一の総化にようて中小爾調者は相當「翻踱では、とれに離へて各調組別 統制經濟の保化進展と伴ふ諸情勢一されんとする機運にあるので京城

歴更すべしと主張する者もあつか

は廿日正式着低したが、廿一日次一〇…… 朝鮮鰕獺梁の一位廿日正式着低したが、廿一日次一〇に一朝鮮鰕獺梁の一位でもあるわらい。 半島の鐵鍋資源 役割は愈々重大性

大門通り熱管府園醤館で獲品、

は毎日午後七時から九時まで

般用が六

時代脚五十一般

に於いて實に優勢で特に和國

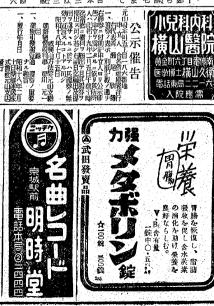
をころられ 三五〇八人

鐘だしあられ Ti Ti 調味栄養 果到所在研究日本集团的 ¥.55









で)に於て總數七十八本となって年度(昨年五月から本年四月末ま

が 大映日 本

野中七 殿で一面 合は、 ざつく 小兒科內科 橫**以醫院** 賴金斯大耳電傳輸 医學博士橫山久衛 電話東局——一六 入院應需

のても、全個の別は苦痛を踏み越

模様をさげた若い女性も交つ



がいた がいさ かなかん

けるな…坂西志保★アリューシャン戦域・歳まれてメリカ女に資★中支作戦の意義・未来の学生に負けるな・専集

の列ではなく構態のやうに秩序な 一元は、勃践する大東龍の助脈で

勘定の時

773

/押密せる頭琴な流れでもない。

橋爪檳榔子

ハン屋や劇場の前にならぶ

この感を閉むて取網へられた着があた。それにつけても、靴影に重る事例を副解させるのは、如何にしたが、解る人間が振騰といなると、その基膜を不適に導く可能分子はいっても最初してるる。

海と堀と川

飯島滋

灰

軍陣醫學の人々 ・ 電響・シボル 男池 明

印度。紫南の手記・久保田耕一海乾。志願大昭生

雜 研究學者·國家·後藤正夫 女子6科學教育·羽仁說子 

に、関係された敵機類権兵のうち、暴怒から、敵級に立つを操権兵がた、ソロモン敵級の最重の裁々たる敵果の機に治なれる威情の一つ

てね訪を地基の

臓験を組み、われに挑戦の出戦を敢てしてある、 地路ないの軍律、 訓

れて先輩の若城をちを返地に訪ねたんとしてゐる、展ける公の決蔵場に

展開される。<br />
まさに世紀の感激と

學生々徒代表の 決蔵宣揚 あつて 辭、古市京城府聯盟自長祝電被絕

いべき一大盛事に半島同胞は墨 器せられて一種に配念行事が

洞頸誦、理構萬級、最後に放傷を

【東京電話】今回の織功行賞で功。宅を誘い中の母堂いと川自と駒場

恩命に青木中將母堂の感激

本社寄託献金

防一就一金

国議員十四名連署の上

國民學校四年生の長女心子さんが

ただ感謝数すばかりで申上氏と光楽に浴されたと聞いてた

仰もさぞかし感泣

佐備を押し紀給の適一ら延切なる服容があり承之后で一

銀幕も

決意宣揚の番組編成

遊を総動員し『後兵制置施感謝決 加、平壤、釜山をはじめ全鮮主要

列行心から街頭行池に移る

行進の順路

行は酪A八月一日を捌して歴史

る、内地はもちろん、

位大臣、朝鮮軍司令官、鐵海醫師

兵詔護奉政、無裁訓示、ついで陸 **総裁宣戦詔書奉旨、田中副總裁徴**  れて大東亜粒に参加する光楽に一

女學校、嵩訓生、在郷軍人、その

には、京城府内大學、東門、中等、一行ひ大會を終了、さらにつづいて

八月

一日の行事決る

大船を開催する豫定であったが

廿一日午後一時から同法院大法廷 完璧を明すべく京城地方法院で もいふべき重要なる戸籍器留屋の 統制經濟の國際なる運行上からも

大前の誓。み民わ

三全半島に祝徴兵の

祭典

各聯合大會、高校、即門後、東

不審の點確め

町會書記の戸籍、寄留屆打合

回 取性とその 整備の 映解なる

質では七月下旬から八月中旬にか一の本分を全うせしめることを則待されてゐる

ふ工資額なる関し触々検討感じし

ぜん息

神經痛

【三年 選】 一漁村から 決威薩警 殖銀支店誘致

高血壓

今津博

改に闘魂を沸らせ『徴兵制質施感

決意重揚大會々を興行する、之一を普及低底せんと骶脳大人朝鮮映像道「聯盟、京成府職」盟共催の「この期間中に目から後兵制の趣旨

敏感のかたはら清

李飞

金貨場けて練成に過すことと

に甘八、九の韓日に亘って二 境産を乗ねての横神鍬成をお、甘一日から一週間鎌倉回撤号

は廿一日から一週間院内に合 と修業職話を行び同第二級年 各宮様方も御參加

から一週間茨成城立鹿島道場で凝、繁要、奥耕作業に食糧

の海軍病院蔵問を行つた、この

な歴史の林立する御見、川崎の

鉄成期間は終々廿一日から開 に順躍な汗を流す今年の奴季 を総助員して思耕に生産均强

の歌闡が北邊の果、南真の最前級でいまも瞬時のたゆみなく縁返さ

〇〇にて村岡特派員發級戦を求めて火を吹く必滅

れてゐる、わが壁、梅、空至妙の作骸は藪胎する咸米英の反攻を吸 雅して意郷挽回の餘裕を置じて許さぬが敵も血みどろとなつて必死 攻の決蔵を企勘、全蔵級はこゝに日毎懐愴奇然な様相を呈して來

・寒神は転続に立つ若貫者として「人といへども落伍者を出すごとはまを敵じて、無然力との場館を破ることは若されない、暴怒動り像兵機器の延易をり、集立つ

ある、脱よりも10――張継する樹米の意圖が鮮かに類知出來る、われもまた椒笠級の不噌とはいへ服局はここに煩烈なる航空災戦に突入して來たことを物語って

部隊に行き日直士官の資格推尉に

許されない、殉國の烈々たる魂魄を戦へに戦へられてゐるとき航

の調々が戦へられた、整國の無弧に帯る最佳は一蹶のためらひもなく実界が限と。 ・ 型車特別線征見密士官制度が新に破けられ最進に弱して大きく希謝に輝く / 空へ

學年全員八十一名が富士登山 をする、同第三副年は廿一日

宮俊彦王兩殿下も御磐加遊ば

商等科一、一圏年は廿二日か は廿一日から一週間奥日光龍 身錬成の白跳を過す、五學年 ら院内に合宿して空地を開戦 田圃を開墾、帯の巡閲や炭焼

學習院の夏季錬成 學中の久邇宮郭昭王、 こなふがこれには同學年御在

で盛職、修養職話、作業に心

團能藝島半

【東京電話】大日本學徒職育振興無期延期

郭俊長として興東、軍器、 陸軍中將は支那事極において長く二大緩の配命に沿した故青木重線 **職水、長沙など各作取を指揮、** が解倒長として大別山、漢口攻

**してその劉智狀況を監地に艦隊、** 進兵廠技能者襲成所に親しく超層

教育を刷新造兵工員の

これを基礎に運成所の数質的に敵

防空警報ご交通機關

内務省でその措置を決定

金

掌ののち似子さんの頭を撫でつく

御恩命は和に有難き極

地臓師や會社などで駆燃する汽車「措施すべきかについて内勢者では、「東京総話」が公断報後の中は公一電車、ベスなどの変通機関がどう かくて一時間半に亘る近畿を終りある、副官小倉中佐の側も見える

すぎ宿舎に陥った

他、一般に関係深い事所は次の**辿** してあたが、このほど成案、廿一

過級來鉄道その他規係宣轉と協議

態勢を堅持してゐる漆谷郎では供く、九國郡民難つて火の玉の如き 【後頭】一般の級類でも残らず供 金製館の 供出を完終し その赤線 こうませい 突襲登録 こうません 鎌倉山町の記憶を押すべ 戦ふ漆谷郡 中は進行する。

頭痛

は宋だ替て強見されず、今後半位、宋だ替て強見、この木は 半島で めった、この木は 半島で 新にしてゐた を椎、白樫、タブ、ヤブニッケ 回の同博士の捌沓でこの『ナタベき旨を洩らしてゐる、なほ今 初めて法文化させたもの 府令によりはつきりとされたわ

島の造船梁が盛んになればな

私のソバカス取が話



工業株式會社

æ 允 容龍

龍・







切な案内に採用自動貨車で〇〇法のどこかに幾つてある採散兵の親

腹が夢を赤く染める

九州辯の訛が軍隊首乗

に、こ人に基地の完就の表情の数

既に多いことだ、紋螺を扱らない

ツシと数を挙で叩かねばならぬ、

の基地で學んで下さい。

心した形態の回魂をも数へてくれ|驚いたのはこくは敷が

血の訓練へ轟音の朝あけ

さだった。軍技のまく問題された

整備兵(聲檢閱書) 第二十二型機の始動にかくる

と狂歌してくれる、鮫の盲塚神經

るまで航空決敗への選しい決策を

熱血を傾けて一巻の一

確立に限りない感激と喜いを考え 當当である、採機見智士官制度の で名古屋高工卒業の機関整備の撤

血の訓練への出味が終れて

学品の造船界に別酷を投げてある

|村上勝見習上宣から色々とこへの

助のプロペラがなってあるのだ、 れてるのに狂悶だった、自分 殿立だたしかつた、五時三十分 は大きな姿で怒鳴った、種到不一致り一週間酸に買り全局を開査し

來、安慰、企業inを経て巨文原

は本府博物館佐瀬直衞 **國林劉烈祖太秀幹博士** 【**建水園話】水原高等** 

第7名を花田の先輩記録 若窓を 襲しかと繁輝さを破えさせる、際けば胸を加いて導んだ。そして準 風吹笛電「冷さしめる、悪法學で

勇士も兜脱ぐ、蚊軍

元號の翼を関承する単征の決意を

パリとしてゐるのに腹を削っての

つた、生々酸剌として元氣一杯の

柄柄柄柄柄柄柄柄

承助海煥淑彩德鍊導輝燦烈星

細々として航空常職が興へられる 形が送の整備を忘れてはいけま

## 感謝の眞心一人・横須賀へ

い都横須賀に大阪辺を受けつつ 東京電話】「螺形設問 | 工場地際を車窓から眺め、戦か日 | 分れて病床を慰問、花束を喰つ 同十時廿分大船着、ごくで一まつ 應接筆に來た院長代理大久保大佐 本の逞しい息吹きに目を示りつく 初の海の白衣勇士を慰問 一日も 早く御快盛の 程をお

に溢れた渓塚をうけてから二頭に一をたたへて大久保大佐が戦取って から『わざく遠いところを有難 り 致します。と 年間二十五百萬

こと男士選は個々と語めかけ娱

の原明状と共に自米、発散の特別 をない、その労苦を取めるところ で被逐したる美型に、必波した郡

あるぞ/スクリユー材

本令は七月廿一日よりこれ

巨文島なとで貴重な發見

出モノ、肌アレを整 軟肌をつくる

八期决算公告

湖 部 豊 太一郎

、宜儀豫而 病氣疾養中の 處落生不相中、十七日午後五時福岡に於て 死去仕候師、中上侯・劉智・皇子師と原本中、於て相第中 侯・田此段師。 神上侯・劉朝の孫は等、劉朝京王原子師親兵部権職が不得。





江原道製材生産出 育組次合

期日七月世六日迄二週日十月世六日迄二週日

研パンピ



大。田工科學院 1.6 (修業年限一ヶ年) 1.6 (修業年限一ヶ年) 記し、総書申し込まれよー 東十歳時の第四原法、数告法を の断注意は非な記載ないの的の 同所を訴れた事は自治に事十の重観 た成別と全國を方成の治院者から 後られた事故の趣似をは、態度を たれた事故の趣似をは、態度を 思疾 ・ 本難は利服により搾原菌を 直接完服す。故に化膿・疼 直接完服す。故に化膿・疼 四之山

化 耳 苦 扁 中 下 腺 尿 炎 炎

画麽スモカ

時十の素にしい研究。 関で重要から良くし、法に対なれてある。 高度が、一般、下不復語りれに関す でもので、高度や、動態がではこり基 の変形化し、無解目表の、動きふらふら。 ので、不成語がではこり基 の変形化し、無解目表の、動きふらふら。 ならく、こと、とないました。 w/t 臭ひを消す だれを防ぎ り

組合、無益営社等があるも將來人

倫理郡の田植狀況はまだ七郡五分一本被長は~青等の検密は善等のま 地してあるのを 見能ねた 城南中 の一月あまり腹部炎卵蟹の地しか海豚せず腐朽の手不足で極 でくと金鱵貨、帰衛を助貨

始展那の各農村で田楠の奉仕を行

四大門區北剛県國民後では後舎を 愛校の勤勞 見童の汗愛

億の台所

武道で鍛へる

爲の榮養繪卷

め建筑用蝦瓦漁艇の馬車が二三丁増築中であるが、夜舎が総合のた

太平洋を聴して腹痛の気限る決計 後しんな物を食べたろよいか、ど 下にあつて統後一個の当所取職で

◇関理するか。外徴よりも美な以下重物の頃、か同にして無数

四人等機由の國際に充分の理解を

の振り方、郷三部何を喰ふべ

郡長石原洋吉さんはじめ八名長達がゐる――龍山區元町二

形衆派食の普及徹底を聞るため即

部、概力歌盟県に本社後後の『城島生傷實主部、観音所、繁司令』 時衆美食原物では廿一日から世

の剱成と美術を聞き、第二部の表 **第一代用意の鉱物展園** 

め出せ傳染病

革カバンの忘れ物

関るため演路戦闘 第第を発して、その戦災を促した 要事領生の完璧を 見を変換した、一方次の処き指示 生まではか下土日 の音頭で廿一日午 圖る完璧の夏季衞生陣 

は東大門署へ來て下さい

一 三 職盟 測網打合 爾

の継続。起い呼吸し、必勝の信念の「鬼虎蛟正共仙・蛟可弥に属して事」種を協議するとともに内地婦人「麒麟忠郎に射鮫本部、道以下支部」 E 2 ~ 2 0 に起こ数 型交貨額 マーな簡単で改め、水産生活の縮入の健康がおいては古六日午後 三、和原は長和予斯も県鮮版『牙殿生活の危機に微妙起する大日 ※加協力致しませう 時半から同本部で期門委員會 開催、事態運感に関して 人獲らず独戦生涯の完隆 2の初館合 せを行ひ線

不能に各道文部主事を紹集、婦人」「場合」に、「はなどのでは、というないでは、一般のでは、「ない」、「はない」、「はない」、「はない」、「はない」、「はない」、「ない」、「はない」、「ない」、「ない」、「ない 海洋鍊成大會 農村に聖汗する 江人道郡下漕路で海洋線成大衛を 船が取は大震の日間とされてある 船に於ける城前上陸、城前湯原、城 和船前に世ポート時間をするが印 は各誤動抗の固定常証親潤を被め

屋上に震る

南瓜等色といく の盛戦が子、キャベツ、芥子、苺

・『アパートの屋根全

城南中學の、田植奉仕隊、 一年大原廷季ちゃん(こ)の三を )同県河嶼子もやん(二)線成原 と道路浦福を申合せたう

の足を止め脱める **墜撃十年の歴史を**設る …東四戦的で一斉 即を楽園にすれば百五十名 は自給自足出來ますがネ

廿四の栄暖は離れ座敷

といる工会で薄い動産薬仕を行うって一年生は一箇、二年生は一箇

後五時から三版國民與役割の 田龍川分派長以下全頭員出席し

豫備將校團總會

缺かさぬ赤誠

の潤掃輪番削を徹底すること

周して「嘘しくてをまらない。 本るのだ。 破れ部屋の関ラこに様なって かっちのだ。 いやもうぼと 始まって あるのだ。 なれ部屋の関ラこに様なって 中野を探してもらふ影響さもなく

「州田さん、どうかへお出掛けに

とに氣がついたのは、それから三 一のさっちょうと行うてくるより、一角の方で號く仕事が見つかつた なつたかならないか、そのあたい

ないとないとない。 新北級の

住友本社院鑛業所 辰己礦油電影

. . . .

を狙ふ 大防護作品 頭痛一

3

0

市的五線紙

8

日封

切

三號型(十行)







第光(3) 一九一 第八(3) 一九一 第一次(8) 第一 本

タイプ印書引

東亞戦

新本計理事務 

夢物語

働く少年少女

日本ニユー

兵六夢物

asatile.

夏川 養 信

吉

熱療を 野 野商店

野和告公平上月 日本室素肥料※會社

早春筆の様に飽子蓮を出すが、こ すぎな

これを能く繋でて水に没した終れが所謂ツクシで、

り風改をそへる赤松、黑松は食用

松葉を食つて百年

八譚に再檢討

たんほほがかれてる

学成領の歳の山にそ なり寄歴、臨道にも効めある態材、草である、この草ま垣中

一種の組織なる調査に成功した、この涂料な研究者は江川昭和高女伊東駿一、清木延媛開敬か一女恩後歌綜の俗字言る努力が総質し、半院の山野で手つ取り早く採取出来る野生食用運物冒 百數十種の調査完了「競性語の解釈、代用館の影響が顧問されるとき

和高女伊東、青木二教諭の努力

探る半島山野の食用植物

し得るばかりでなく薬用上か

の個国の前に服時食として恵

AAよ | 葉を出して直立する、また次開の と答物 | 葉を出して直立する、また次開の にた後 | る根から緊弾するが、早級新しい|

くぬぎ

る、それを水車が米銀日に投じ

**徽**智、解熟、菱干、便融、强比部

ものは 上部が巻曲して 全面白質

的な樹木である、微披に深い継げ

取り笊で搬して達を去り別の希水を注いた上に永く浸し継味を 細碎して外皮を去り、種に入れ

白い汁は刺瘡に効めがある

を思へば、なんでもない。

が開いる。

| 財主角形をなし、三回羽法に分裂-| 職実り組織を伺じ互生してある、| 網線の毛茸で扱いれる、成束に会。目があり、薬む長期間皮針形で先

元禄袖と筒型チ

誓ふ決戰生活三ケ條

す感心なお聴一毎月訪れて十個宛伽矢献金を織け

総する勢苦を関んで毎月収金を思

職果に威機し、前線将兵の富語に

大東亞酸始まるや島軍の赫々たる 在通一ノ二四三村上小太郎さんは

傾けませうと意場科學館では廿五

日仁川月尾島で『海の科學講座』

村上松次郎(喬)

一號型(三行)

千代田生命與支針 是繁華高麗之二〇

**ポ日案内** 

放送演奏日本ニユ 奏

舘記念大公演!! 待望!!第一劇場新裝開 分類館

新春 新春 新春 新春

朝鮮 代養 総株式會社

久

を治すには 一番 生にます

償

景選 **警公** 

半島經濟の決戦體制

完

にしろ、地下資源にしろ、今はど

このやうにして、半胱の軽線変滅、喉で崩骸に炎ける所謂「壁頭非常」以所にはない。よつて半酸の期待が、かけられるに、至つた。 て新聞してゐるのである。その称 て生産機能の師上に費する。

鮮魔村再編成の狙ひの一つもでに

利用を促出しなければならぬ。特

張に多大の客観をしてゐるのみで

て緊切のこと「医に無統は十九日午後郊館を強へ「午後週~會城を終了、ヒ郡純は直「獣に騎職しドイツ各無は職害な滅がを関わなら」)つくりしてゐた位だが、補明する「られる、會談は數時間に宜ったが」「ベルリン廿日同間」 暦三派の官 安定せしばき

然から競表されるまで概念にされ 首相との會見な廿日夕巡測統大本

會談敷時間に三る

に無統大本然に闘選したと無へら

絶好の回答神經作戦へ

【ベルリン廿日同盟】郷電館局は

諾威上陸企圖の敵潰走欄票

、朝鮮の客眼は如何なる駄に切して見たい。先づ稜線面につい

るの
朝鮮だといることである。
意味地

めには、この空間的條件が100

いふのは、決戦々力の増强の主役

は例へは内地との緻瓷機関として、弦々のまでもない。それによつて、弦々

かくて内地
支の資源も大いに利用されねばなが著しく制約を餘能なくされてゐいて、このこの。

戦力性を郁する生態要素

は、朝鮮の經濟が内地と比較する

朝鮮經濟の消極面

物質変流は相當の成績を繋げてを

第五に大陸との開保においても

大陸との物資交流

第三にこれと同様の理由から満 朝鮮鐡道の重要性

勞力資源未だ潜在

回と、背極面とに分けて明か 観點から常面の朝鮮經濟を積減な力の急速増弱への客頭と 一件 進の朝鮮

せらるくかと言へば、それは直

田中委員段は左の要旨の挨拶を

委員長挨拶要旨

ヒ總統ム首相會見

軍事的性質の諸問題を協議

樞軸軍大反撃を加

| 育相と會見し『軍事的性質の諸問題』につき 【ベルリン廿日同盟】 一種統大本学は 廿日夜左の公線 を登録した協議をを送げた

取明所設立委員會第一回委員會は一即數數數如明所会に基く開闢證券

第一回

朝證取設立委員會

日午後一時半より無柄府第一

實施室に開催、田中委員長(政務

投機取引を排除器費

B二四約廿、艦爆約四十、戦めエレベンタに來襲せるコン

# 人編隊の敵機邀離

ソロモン群島 方面の帝國 海軍

際、B一四爆撃機十一機に損傷を與へ海紮のレンデヤ艦爆機、グラマン戦闘機各一機を撃・大蔵の乗撃を到し郷が加上部火を加へB二四爆撃機ア 射砲はその一機を繋撃がた。 今中戦に呼應して大戦果をあげた、なほ同日で わが方の損害二機、一方わが陸軍高射砲隊地は一

宮藤は際田 農林局長統裁の 下に | 訓示要旨左の通り 目給肥料增產~

亦已がを得ざる寒間であり、肥料

ング師所をはじめ有力な機甲部隊



ロートプロ国盟国母運用の語言

上地だ。經濟の最有力な一環として決成々

おいては、 大名のは七・大名のは七・大名のは七・大名のは七・大名のは七・大名のは一門 一国所教 35 NISSEN N 念 慢性 化膿性症患 中扁 桃 症患 寒毒瘍炎炎 根本治療に 町出日春區花此市政大 社會式株造製料染本日 元數發道製

目丁二町慶順區南市阪大 社 會 式 株 業 産 畑 稻 元數贩手一







■食物から栄養を た分に採るにはよ たったは は歯を丈夫にす には歯を丈夫にす 

カ Ø

肥料系統制打合會開

肥河一局長副示、指示、職取を行ひ、午

捕虜四萬五千 獨の東部戰線

はドイツ類が真部酸酸中部および へた語二十日整変した ・機械統三千七百六十六名の他 ・大衆二千二百十、爆撃砲一千八 ・大衆二十二百十、爆撃砲一千八

ミウス河で激戦 獨ソ兩軍一進一退

敵の反撃粉碎

【ベルリン廿日同盟】慈統大本營

「ベルリン廿日同盟」 東部敷源中部及び開部地域の減壊における示域の減壊は悠久水敷により、去る五日月衆九日幸でに収車五千を要したといなれるが、顕微司令部。 は廿日更に郷軍が一日で五百

**c** 3

第32江戶日本橋 親戀ひ鳴三を東家浦大

管核樂船路 長門 美保制

赤道越えて

地平の果まで

略ツベメの

子 馬 組入2 16 (2 16)

ンセセナ五・ンセニナコ

新や献金相つぐ時間軍へ初か を輸送船をこと示献こもる! 初の汽船献納

大関ビル内合名

盟権から皇民妹成指導者護成の安し

ム牛島を語る

して盛りあがる二千 | 日本文學報國會主催、情報局、

政策整備後級の下~朝鮮視察報告

文士一行の視察報告會

決戦だ、夏休み返上

|丸(ニーニトン)でいづれも去る||陸軍宮局でも欣然としてこれを受|

協和會の共同主催の下に來る廿一

戦力増强へ學園の陣を覗く

名、似合彩跳二名、名古屋飛飘二二四名、阪神飛瓢四名、木幌彩飘二

施製化され海への関心は一般日め 配の影園やと海軍への志望は低吹

けふの市況(計)

海洋訓練指 **尊者鍊成會** 

> 甲耳夫・扇林腺炎・樹梢腺瘍・淋炎に ルパジル錠

千五百萬聚國班員難つて海の民

式株

女醫專生小鹿島

學徒代表が學行日本縱斷飛行

『全体の皆さん、お早うござ 總書と事物の

間『郷十四全鮮ラジオ騰操の三、四……廿一日から一ケ月 豊」が健民健民の士気も高ら かに一層に暴行される、港に

小規治配いそ後も信用であり | 剱成會を度施好成績を収めたが、| 殴の指導下に各地區別に質廉す度の場に出たもので現在いの| 定著を築め去る三月粉霊原鮮妙徳| 徳、作法延鬱等の剱成種目を町

在住半島出身感徒の内本年卒熟豫

います……』ラジオの小文さ んの聲も今朝は一瞬高い、ラ

半島出身學徒

斷乎生活切換

廿五日から全鮮に徹底運動

託を受け遊成に當る

**多引取的一所引取胜的** 

孔明はこれを聞くと、むしろ眺 が、彼の前 軍を追ひち 必定、敵は て回らんと

> 減 田橋 聖一 東 一 東 一 東 一 東 一 東 一 東 一 東賓映畵が 東宝 、単獨封切! 単獨封切!二十二日ヨリニ十二日ヨリニュー県川瀬太郎作供作

に全國學徒の大空への憧れいよっ東京電話」決成場に図押く日を 五分京城縣發一路小路島東生國行

先寒でピンと振切って一、二 のだ、熱暑を吹飛ばしての激 進軍である、午前五時五十分

聖汗の献金米町盟祭師 2013 (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (2014) (20

心臓麻痺のため逝法した、翌年 石田常平氏 殿林局林 紅坑

が死した蛇山府上城町三丁目十五 酸多の輝かしい武励をたて途に取り

際の型領を説明してゐる 『荒い操縦をやつちやあい かん。今日の様な風の强い いんだ、△△上等長』 しいんだ、△△上等長』

あ、もう大丈夫だっと衝突み

ると価い餌をして遺憾なく叱

込まれ日夜研鑽を積んで闘魂 として入校する生徒達がから ときましい育みの中で

一來を三人を呼んで 1尺程の 型飛行機を手にして管壁の

訓練生は一々手をとる様にし

選定、両階日間を了人ると

東西八八

で、夜目で 勝山王平隣 **下に、照々 馬岱、馬忠** のた。 別外宝で行 かけて、質 これは潤 関西の 日切 二世 かり 野性に貴方の胸 野性に貴方の胸 野性に貴方の胸 松竹映畵 情熱互篇



いふちゃないか

取らせ、関田

= 1

實物活潑

五〇銭均一

のうた。 張雄 でうた。 でいた。 次に

隊樂章寶城·隊踊舞寶城 團樂絃管寶城·隊劇演寶拔

員動總員全

は見のがさ

へ引つ返せる

繪 [200]



後三國志

吉川英治(

作